



川越市立大東西中学校 学校だより

きらめき

令和7年10月7日発行
第6号
川越市立大東西中学校
校長 小川 潤也

学校教育目標 『豊かな心を持ち、たくましい生徒 ～ 夢や希望をもつ生徒 ～ 』

○自ら考え、自ら学ぶ生徒 ○豊かな心を育む生徒 ○心身の健康に努める生徒

「見えなくても、そこにある努力」

校長 小川 潤也

2学期が始まった頃には、まだ夏の陽射しが感じられていましたが、1か月が過ぎ、秋の風が心地よく感じられる季節になりました。新人戦、校外学習も終わり、少し落ち着いた日々が戻ってきました。新人戦は、それぞれの目標に向かって一生懸命に取り組み、全力で頑張っていました。また校外学習も事前学習から当日に至るまで準備を重ね、協力し、大きな事故なく行くことができました。そして、今日から中間テストとなります。皆さんの心の中にはそれぞれの「次の目標」が見えてきているのではないのでしょうか。

詩人・金子みすゞの『星とたんぽぽ』という詩に、こんな一節があります。

「星は見えなくても 空にある たんぽぽの根は見えねども 春を待つ」

夜空の星は昼間は見えませんが、確かにそこにあります。たんぽぽの根も地面の下で静かに春を待ちながら力をためています。努力も同じです。結果がすぐに見えなくても、見えないところで力は育っています。

目標に向かって頑張る時、順調な日ばかりではありません。思うようにいかず、悔しい日もあるでしょう。でも、あきらめずに続ける人だけが、心の中に「根」を伸ばしていけます。努力とは、見えないところで自分を育てていくことなのです。

テストで点を上げたい人、部活でレギュラーを目指す人、友達ともっとよい関係をつくりたい人、それぞれの目標は違っても、「少しでも前へ進みたい」という気持ちは同じです。

そして、誰かに見えなくても、皆さんが努力している姿は、必ず誰かが見えています。先生や友達、そして何より「昨日の自分」がちゃんと見えています。

秋は「実りの季節」といわれます。木々や稲は、夏の間の太陽や雨を受けて実を結びます。皆さんの努力も同じです。すぐに花は咲かなくても、日々の小さな積み重ねが、やがて大きな実を結びます。たとえ周りに気づかれなくても、自分だけはその努力を信じてください。

この秋、自分の目標に向かって、焦らず、比べず、一歩ずつ進んでいきましょう。見えない努力こそが、皆さんの未来を支える「根」になるのです。

【校長室より】先日、長野県のある小学校の校長先生から電話がありました。2年生が校外学習に行った際に、その学校の児童がしおりを落としたところ、昼食場所まで確認して届けてくれたそうです。名前も名乗らなかったのですが、学校名だけは教えてくれたので、とお礼のお電話でした。学校生活以外でも素晴らしい行動をしてくれた西中生がいたことに大変嬉しく思います。